

特集

福島かるた物語

■主な内容— Contents —

まつうら輝（キラリ）人……………	14
松浦の民話……………	16
未収金の徴収強化……………	18
社会を明るくする運動……………	19
Tomorrow—明日へのバトン—……………	32



おばあちゃん
ごっつちだよー！

特集

福島かるた物語

本市には二つの郷土かるたがあります。「まつうらふるさとかるた」(平成6年3月、松浦市小学校教育研究会社会科研究部制作)と「福島名物いろはかるた」(昭和59年12月、福島町発行)です。

今月号で取り上げるのは、「福島名物いろはかるた」です。福島地区に住んでいる人も、松浦地区、鷹島地区の人にも知ってほしい物語。

さあこれから、「福島名物いろはかるた」にまつわるお話をひもといてみましょう。

いろはかるたの誕生

郷土誌編さん

「福島名物いろはかるた(以下、「いろはかるた」と言う)」ができたそもそのきっかけは、福島町郷土誌の編さんにさかのぼります。

福島大橋が架かった翌年の昭和43年、福島町では大橋架橋記念事業の一つとして福島町郷土誌を編さんすることになりました。

当時の福島町長であった野村昌秋さんを会長とする郷土誌編さん委員会が発足。教育長の緒方憲治さんが中心となつて資料の収集、計画を推進しました。昭和47年2月には、熊澤正武さんが委員長となり、その計画を受け継ぎました。

「いろはかるた」のかるたことはを作った小川吉弘さん(福島・播磨釜)は、昭和47年6月、編さん委員兼事務局長となり、昭和49年10月には教育長となりました。

委員会では、郷土誌の編さん過程で多くの資料を収集しました。

名勝、旧跡、歴史、郷土芸能など、その膨大な資料を基に編さんが進められ、その始まりから12年の歳月を経た昭和55年3月、ようやく発刊の時を迎えました。



▶完成直後の福島大橋

観光PR材料として

小川さんは、郷土誌編さん委員として自然編や歴史編、民俗文化編のほか多くの分野の執筆を担当しました。また、校正や編集なども担当し、郷土誌発刊の原動力となつて精力的に取り組みました。

福島町には、長崎県指定文化財5つ、町指定文化財が20ありました(昭和54年12月当時)。小川さんは、こういった史跡や天然記念物などを織り込んでかるたを作れば、福島の観光PRにもなるのではないかと思うようになりました。

一つの縁

小川さんが教育長時代、福島中学校に坂口寛さん(今福・人柱)が校長として赴任しました。また、坂口さんは、松浦ホトトギス会の会員でもあった関係で小川さんが主宰する福島俳句会にも入りました。

小川さんは俳句の分野などで活躍

し、坂口さんもまた俳句のほかに絵画、陶芸、写真などの美術にも優れた才能の持ち主でした。

小川さんは坂口さんに、自分が作ったかるたことはに絵を描いてもらえないかと依頼。二人は意気投合し、かるたづくりの体制が整いました。

昭和54年から始まった「いろはかるた」の作製は、約5年後の昭和59年12月、誕生したのです。



▶「福島名物いろはかるた」は、教育委員会福島分室で販売。1セット1,000円



第2部

かるためぐり

かるたことばと絵札

かるたことばには、その1枚1枚に福島町内の文化財をはじめ名勝、旧跡、風物、郷土芸能などの福島の特徴がうまく取り入れられています。福島を愛し、福島を知り尽くしているからこそ、そして俳句を愛する小川さんだからこそ生まれた、かるたことばです。

坂口さんが担当した絵札は、版画風に描かれています。白と黒の調和が素晴らしく、力強く、温かみあふれる絵札です。

貴重な資料

「いろはかるた」の完成から既に約27年の月日が流れています。その間に福島町の風景も様変わりしました。つばき荘は、老朽化に伴い現在建替え工事が進んでおり、当時のつばき荘は跡形もありません。また、鍋串港では埋め立てが進み、その風景が大きく変わっています。

今後も、古くから慣れ親しんでいた町並みや風物などは時代とともに少しずつ変わっていくことでしょう。だからこそ「いろはかるた」は、当時の福島町の物語を後世に伝える貴重な資料となるのです。

特集 福島かるた物語



皆が集う場所に

貴重な資料にもなる「いろはかるた」のかるたは、多くの人の目に触れるようにと、さまざまなイベントに活用される会場、人々が集う福島町のふれあい広場にちりばめられています。

舞台壁面には「いろはかるた」にも出てくる浮立の様子の絵がタイル張りになっており、舞台下にはかるたのいすには絵札、地面には福島をかたどった図に、かるたのことは頭文字が埋め込まれ、その位置が分かるようになっていきます。

かるたを基に

「いろはかるた」は、かるたをするだけでも十分に楽しむことができ、かるたをしながらふるさとの名勝、旧跡などを知ることができます。さらに「いろはかるた」に出てくる名勝や旧跡などを実際にめぐって



いけば、ふるさとをより深く知ることができ、新しい発見もできるかもしれません。小川さんによる解説を参考にしながら、「いろはかるた」のいくつかを紹介します。



「いろは島」

じま
しじゅうはちとう
四十八島

「朝がすみ」

いろは島は福島の代表的景観です。福島の東海岸と唐津市肥前町の西海岸に囲まれた波静かな湾上に浮かんでいます。大小48個の島からなるというのでこの名が付いています。

明治39年8月、哲学者井上円了博士は、福寿寺から眺めて「松島のように」と感嘆され、いくつかの詩を残されました。玄海国定公園の一部。



「湧きいでし」

マグマ

「弁天島岩脈」

黒い岩脈は水成岩をつきやぶって黒い玄武岩が噴き出したもので、弁天島まで約400メートルにわたって帯状に続いており、干潮時には点々と露出します。岩脈の幅は1〜1.5メートルくらい。地質学的に珍しいとされています。長崎県指定天然記念物。





「やぶつばき
初崎めぐる
遊歩道」



福島の北端初崎はみことな自然林で、玄海国定公園の区域に入っています。西海岸は海水浴場であって夏は観光客でにぎわいます。自生のやぶつばきがたくさんあり観賞地でもあります。



「こめ
米どころ
土谷白米の
名もゆかし」



土谷は土地が肥えていて西南に向いて日照が豊かで水がかりもよいため、土谷の米は福島の中でも特にいいといわれています。
その土谷の小字に「白米」という地名があります。米どころ土谷にふさわしい地名です。



「てんしょう
天正の
悲劇の
武将団助公」

寺山団助は松浦党志佐純意の重臣で天正17年（1589年）ごろ、鍋串で福島を治めていました。
志佐方の勢力を殺ごうとした平戸松浦のざん言によって主君の手勢の夜襲にあい、悲壮な最後をとげました。



特集 福島かるた物語

福島の素晴らしさを

伝えたかった

福島には、多くの素晴らしい名勝、旧跡、風物、郷土芸能などがあります。この素晴らしさを多くの人に知ってもらいたい。「いろはかるた」を作ろうと思った出発点はそこでした。福島大橋が開通し、観光PRの一助になればという思いが強かったですね。「いろはかるた」を利用してもらうことで福島の観光を広めたかったんです。もう一つは、旧跡や名勝、郷土芸能を後世に残していきたいという思いがありました。

取り上げるかということ、いろはにほへど……という頭文字に当てはめる時には少し時間をかけましたね。

ふるさとを愛する気持ち は変わらないでしょう

「いろはかるた」ができてから約30年が経とうとしています。この30年で福島も目まぐるしく変化しましたね。しかし、情景が時代とともにどんなに変化しても、そこに住んでいる人がふるさとを愛する心はいつまでも変わらないと思います。

「いろはかるた」の内容が、今にそぐわない部分もありますが、これはこれとして昔の物語として残っていけばうれしいですね。



かるたことばを作った

よしひろ
小川 吉弘さん
(福島・播磨釜、87)

福島は、祖母の出身地なので、親しみとつながりを持っていました。より身近に感じるところがありましたね。

福島町は、文化的にも住んでいる皆さんも質の高い活動をしていらっしやったので、小川先生から「いろはかるた」のお話をいただき共感したところです。

紙版画は、親しみやすい技法で温かみがありますので、以前から好きでよく作っていました。「いろはかるた」も1枚1枚紙版画にしようと考えていましたが、そのころはとても忙しい日々を過ごしていました。

福島に愛着があったから 描けたのでしょね



絵札を描いた

ひろし
坂口 寛さん
(今福・人柱、80)

そのため、手書きで版画風に描くことにしました。かるたことばを基に、すべてを回りスケッチしました。構図やコントラストを考え、版画らしさが出るよう心掛けました。

大事にしてもらい、

ありがたいですね

現在、福島小学校が、ふるさとを知るための授業で「いろはかるた」を活用しているという話や、福島中学校の校長時代に中学生だった方から「子どもが、「いろはかるた」を研究している」という話を聞き、「いろはかるた」が生きているんだと感じました。30年近く経ってからこんなに大事にしてくれていることは、たいへんありがたいことですね。

私のふるさと

福島小学校での活動

福島小学校の玄関には「いろはかるた」が展示してあります。また、小学校3年生では、社会科の中で地域を知ろうという授業があり、それに合わせ総合的な学習の時間に「いろはかるた」を活用して福島の史跡めぐりなどを行っています。かるたを活用することによって、子どもたちは遊びながら地域に興味を持ち、地域を知ることができるのです。

「いろはかるた」の研究

この総合的な学習で「いろはかるた」に触れ興味を持った人がいます。現在、福島中学校1年生の徳田紗弥子さん（福島・伊万里釜、12）です。紗弥子さんは、小学校3年生の時、総合的な学習の時間の中で、「いろはかるた」に出てくる史跡などを何カ所か巡りました。授業では、学校の近くだけしか回らなかったため、48枚に描いてあるすべてを回って、

もっと「いろはかるた」のこと、福島のことを知りたいと思いました。そこで、夏休みを利用して家族の協力を得ながら「いろはかるた」巡りが始まりました。この自由研究は、6年生までの4年間続けました。3年生の夏休みにほぼ全部の場所を回り、写真を撮り感想を書き入れ1冊のノートにまとめました。4年生と5年生の夏休みには、さらに詳しく調べまとめました。6年生になると、史跡にまつわる歴史や背景などを福島図書館で調べたり、地元の人に聞き取り調査をしたりして「いろはかるた」研究の集大成としてまとめ上げました。この年は、弟の孝喜くん（当時小学校3年生）も紗弥子さんとともに「いろはかるた」を巡り地図を作りました。また紗弥子さんは、「いろはかるた」を調べることを通して感じたことなどを、松浦ライオンズクラブ第22回小中学生弁論大会で発表しました。

▼紗弥子さん3年時の夏休み子ども作品展への出展作品



▲紗弥子さん6年時の夏休み子ども作品展への出展作品



▶徳田紗弥子さん（福島中1年生、写真右）と孝喜くん（福島小4年生）



▲昨年の夏休み子ども作品展への出展作品と一緒に記念撮影（紗弥子さん6年生、孝喜くん3年生）。どちらの作品も奨励賞に選ばれました。



自然の楽園 私のふるさと

福島小学校6年 徳田 紗弥子

みなさんは、「福島町いろはかるた」をご存知ですか。福島町いろはかるたは、今から30年前、いろはにほへとを使って町おこしのためにつくられたもので、それぞれ福島町の名所や伝統芸能が語られたかるたです。

私は、3年前の総合学習で「福島町いろはかるた」と出会い、私を通して家族みんながいろはかるたのとりこになりました。最初は聞き慣れない言葉に意味も分からず覚えていましたが、リズムにのって毎日の音読でおこなううちに家族みんながゲーム感覚で覚え始めました。祖父母も

「なつかしかねえ。」と昔を思い出しては話がはずんでいきました。祖父母の話を聞いていく中で、私達の知らない福島町が見えてきました。

その年の夏休みに家族で史せきめぐりをして、小さな町でも知らないことにおどろきました。

あれから3年の月日がたち、保育園生だった弟も3年生。3年前の私のように今、「いろはかるた」の音読をしている弟の姿を見て小学校最後の夏休みもう一度家族で回ってみたいになりました。家族みんな大賛成！

いよいよ長い夏休みがスタートしました。ガイドブックと地図をにらめっこ。カメラを片手に出発！簡単に探し出せると思っていたところ、これがなかなか手強い相手ばかり。祖父母や地域の人にたずねながら奥深いいろはかるたの世界に引き込まれていくのでした。年長組の妹も宝探しをするかのように、われ先に見つけようと一生けん命でした。

「にあんちゃん

映画なつかし鯛の鼻」

鯛の鼻炭こう跡地には、今だに当時の建物や機械や炭こうのぎせいとなつた方をまつる観音様があり、それらを目の前にすると、行ったことのない昔にタイムスリップしたようでした。

図書館から「にあんちゃん」のビデオを借りて家族で映画かん賞を楽しましました。映画で観た映像とははるかにかけはなれた風景に「昔はこ

の場所にたくさんの人たちが働いていたんだなあ。」と不思議な気持ちになりました。

「えのような

見晴らし大山展望台」

「落日の

ながめは初崎展望所」

など、あらためて福島市の自然の素晴らしさにも気づかせてもらいました。昔も今も、そしてこれからも大切に残して伝えていきたいものがたくさんあります。

地域の方々によつて見守られ、保存されている史せきもあれば、人の手が入っておらず草むらの中説明が書いてある立て札だけでなく、史せきさえもかくれてしまっているところもありました。あちらこちらにゴミが落ちていたのにとっても残念な気持ちになりましたが、兄弟でゴミ拾いをし、きれいになった所を見て笑顔で帰りました。

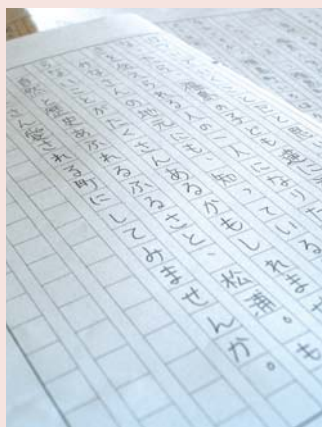
この夏、みんなで一つの目標に向かって取り組むことができ、家族のきずなも強くなりました。そして、あらためて福島のすばらしさに気づき、今まで以上に福島が大好きになりました。

先人が残してくれた郷土の史せきや伝統は地域の宝です。これらは私達の先祖の努力の足跡であり、時代を超えて私達の心を豊にしてくれる物です。今を生きる私達の役目はその史せきや伝統という地域の宝を守り、受けついでいくことだと思います。私が大人になったら、福島の子ども達に福島のすばらしさを伝えられる人の一人になりたいです。

みなさんの地元にも、知っているようで知らないことがたくさんあるかもしれません。

自然と歴史あふれるふるさと、松浦。もっとたくさん愛される町にしてみませんか。

～平成21年11月3日、松浦ライオンズクラブ第22回小中学生弁論大会での発表より～



キャンプシーズンを前に清掃

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ(祖川章会長)が6月20日、志佐町の柚木川内キャンプ場の清掃を行いました。

同会では、毎年不老山総合公園花壇の花植えや市内小中学校支援学級の生徒との体験旅行などを実施。今回は、7月1日のキャンプ場開きを前に、快適に施設を利用してもらおうと清掃を計画しました。

この日は同会会員など45人が参加し、キャンプ場の清掃と周辺道路の環境美化を行いました。



海難救助に感謝状

桑下康博さんが男性救助

桑下康博さん(星鹿・下田、40)に6月22日、伊万里海上保安署から海難救助をしたとして感謝状が贈られました。

6月14日の夜、松浦港でボートでの釣りを終えた男性2人が、いかりを引き揚げようとしたところ、いかりが海底に引っ掛かり、バランスを崩して転覆。1人が自力で岸まで泳ぎ110番通報しました。松浦署から依頼を受けた桑下さんは、自身の漁船で現場に向かい、ボートにしがみついている男性を発見し、桑下さんの漁船に乗り込んだ同署員2人と男性を助けました。感謝状を受け取った桑下さんは「男性は、救命胴衣を着けていたので良かった。救命胴衣着用の大切さを改めて感じました」と話しました。



まちの話題

Matsuura City Topics

W杯公式球を小学校にプレゼント

松浦郵便局がサッカーボール寄贈

松浦郵便局(黒川廣治局長)が6月17日、志佐小学校にサッカー・ワールドカップ南アフリカ大会公式球(小学生用の4号球)を贈りました。

全国各地の郵便局とゆうちょ銀行が地域貢献の一環として、将来を担う子どもたちの教育に役立ててもらおうと、店舗で展示した公式球を地元の小学校に寄贈しています。

この日は、黒川局長が志佐小を訪れ、島田茂明校長に同ボールを手渡しました。黒川局長は「このサッカーボールを見て、子どもたちが夢を持ってくれたらうれしいですね」と話していました。



グラウンドゴルフで熱戦

市老連グラウンドゴルフ大会

第4回松浦市老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会（同会主催、松瀬輝治会長）が6月23日、市民運動公園で行われました。

グラウンドゴルフを通じて会員相互の親睦と健康増進を図ることを目的に毎年開催。この日参加した約300人は、日ごろの練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。上位の結果は、次の通りです（敬称略）。

【男子】①荒岩嘉助（御厨） ②白井順吾（今福） ③眞島鎮馬（親和） ④谷本正人（里） ⑤里森 壽（御厨）

【女子】①澁谷暁子（福島明寿会） ②池田征子（今福） ③北川マヌエ（鷹島原） ④高田愛子（親和） ⑤吉本智恵（里クラブ）



地域に貢献する近江鍛工

近江鍛工長崎工場が清掃作業

御厨町の近江鍛工長崎工場（松澤司郎工場長）が6月24日、工場周辺道路の清掃作業を行いました。

同工場は平成6年に設立し、新幹線のベアリングや産業機械などを製造しています。同工場では、環境月間の取り組みとして、地元が行う清掃作業を前に、地域貢献を目的に毎年実施しているものです。

この日は、社員約20人が刈払機や竹ぼうきを使って、約2時間かけて沿道の草を刈ったり、落ち葉やごみを片付けたりしました。



全九州高等学校なぎなた競技大会

松浦高校なぎなた部

第16回全九州高等学校なぎなた競技大会が6月20日、文化会館で開催されました。

同大会には、九州各県から24校、約90名の選手が出場。演技競技、個人試合、団体試合が行われ、熱戦が繰り広げられました。

松浦高校なぎなた部は、演技競技と個人試合に出場しましたが、惜しくも初戦・予選リーグで敗退しました。

同部は、8月3日から5日まで行われる沖縄インターハイに向け練習に励んでいます。



苗木配布、市民に大好評

九州電力松浦発電所・電源開発松浦火力発電所

九州電力松浦発電所（中西章夫所長）と電源開発松浦火力発電所（埋田悦造所長）が6月22日、中央公園で苗木を配布しました。

環境月間の取り組みとして行われたもので、配られた苗木は平戸ツツジやベンジャミン、リーガルベゴニアなど8種類、合計400鉢。よかところ大使の小船裕紀子さんや法被姿の所員など約20人が、配布開始を待っていた多くの市民や通りかかった買い物客などに配布しました。



黒島でボランティア草刈り

川西会が清掃作業

市内のボランティアグループ川西会（田口政敏会長）が6月26日、鷹島町黒島地区で清掃作業を行いました。

同会は県の河川里親制度の指定を受け、毎年志佐川周辺の清掃活動を実施。今回は会員の出身地で高齢化が進む同島に貢献したいと清掃作業を計画しました。

あいにくの雨天となったこの日は、合羽などを着た会員約20人が黒島港から黒島集落までの市道や周辺の沿道を刈払機などを使って約2時間かけて清掃を行いました。また、作業後は地域の住民とバーベキューを行い、親睦を深めました。



感謝の気持ちを込めて

星鹿少年ソフト

星鹿町の少年ソフトボールチーム「星鹿少年ソフト」が6月24日、市内で開催される「松浦ライオンズクラブつつじ杯少年ソフトボール大会」を前に、羽黒神社の清掃を行いました。

20年以上前から交流を深めている長与町のソフトボールチームが、同大会時に毎年羽黒神社に宿泊させてもらっていることから、長与町の選手を気持ちよく迎えるためと同神社への感謝の気持ちを込め毎年清掃を行っています。この日参加した部員、保護者など12人は、ほうきを手に落ち葉を掃き集めました。部員たちは「部員が少なくて、つつじ杯に出場できず残念ですが、長与町の選手との交流を楽しみにしています」と話していました。



子どもの声に耳を傾けて

松浦市子育て支援事業公開講座

松浦市子育て支援事業公開講座（松浦市保育会主催）が6月27日、きらきら21で開催されました。

「今が大事なとき。まだ、間に合う」をテーマに、青少年問題カウンセラー外松太恵子さんが講演を行いました。

外松さんは「人の話を聞く、人の喜びを伝える、人の悲しみが分かる、我慢ができる子どもに育てるために、子どものどんな小さな声にも耳を傾け、深く子どもとかわかることが重要」とし、母親を意味するMAMAの頭文字に当てて「M見放さない、A諦めない、M前向きに生きる、A（どんなものも）愛することが子育てには大切です」と語り掛けました。この日集まった保育士や保護者など約70人は、熱心に聞き入っていました。



犯罪予防は犯罪予測から

防犯まちづくり講習会

防犯まちづくり講習会（長崎県など主催）が6月26日、文化会館で開催されました。

「子どもと街を犯罪からどう守るか」～地域安全マップで人づくり・絆づくり～と題して、長崎県安全・安心まちづくりアドバイザーを務める立正大学の小宮信夫教授が基調講演を行いました。

この日集まった約330人を前に、小宮教授は「犯罪者が好む場所は、だれもが入りやすくだれからも見えにくい場所。また落書きやごみが散乱する場所なども犯罪者の心理に影響する。危険な場所を予測した上で地域安全マップづくりが必要です」と話されました。講演後は、地域安全マップ作製の事例報告がありました。



思い出詰まった校舎に「ありがとう」

御厨小学校さよならフェスタ

御厨小学校（中田順子校長）の校舎改築に伴う新校舎への移転を前に、校舎とのお別れ行事「さよならフェスタ」が7月4日、御厨小学校で開かれました。

現在の校舎は、昭和40年に完成（一部は昭和37年完成）。老朽化が進んだ上、耐震強度も不足していました。

この日は、保護者や地域の人など約200人が集まる中、児童は学年ごとに校舎にまつわる劇や歌を発表したり、校舎への感謝のこぼを述べたりしました。



短冊に願いを込めて

ほしか保育園七夕のつどい

ほしか保育園（山口太子園長）の七夕のつどいが7月3日、同保育園で開かれ、園児や保護者、地域の人など約350人でにぎわいました。

この日園児は、願い事を書いた短冊やササ飾りをササ竹に結び付け、七夕コンサートではギターやマンドリン、フルートやピアノのアンサンブルを楽しみました。また、夜店で買った手作りカレーや焼きそば、たこ焼きなどに舌鼓を打ちながら地域の人との交流を楽しみました。

七夕のつどいで飾った小さいササ飾り3本は、ありがとうの気持ちを込めて星鹿駐在所や星鹿郵便局、星鹿公民館に贈りました。



タンザニアでの活動を報告

青年海外協力隊員が帰国報告

独立行政法人国際協力機構（JICA）^{ジャイカ}の青年海外協力隊員として派遣されていた市職員の久保智里さんが6月30日、市長に帰国の報告を行いました。

久保さんは、アフリカ・タンザニアのイリング州立図書館に司書として派遣され、データベース化や子どもたちへの読み聞かせなどを実施。2年間の活動を終え、帰国した久保さんは「活動する中で現地の職員の意識が変わり、データベース化に積極的に取り組むようになってくれた。現地での経験をこれからの仕事に生かしたい」と話し、友広市長は「貴重な経験を生かし、市民のために活躍されることを期待しています」と話しました。



時節ごとの気持ちを詠む

第20回西海短歌祭

第20回西海短歌祭が7月3日、文化会館で開催されました。

県内を中心とした短歌愛好家で作る西海短歌連盟（山口礼子会長）が、会員同士で学習しながら親睦を深め、地域の文学の発展につなげたいと開催しているものです。この日は、会員や近隣の短歌愛好家約30人が参加。事前に寄せられた短歌54首の作品の中から、互選賞や選者選賞などの入選作品が決まりました。市内の入賞者は次の通りです（敬称略）。

【互選賞】 松浦市賞 浦上シズエ

平戸市文化協会賞 百枝悦子

松浦市文化協会賞 石川元治

【選者選賞】 石川元治、百枝悦子、浦上シズエ



伝統芸能を守るため

田ノ平浮立保存会と浮立を受け継ぐ地域の若者たち

Interview

久田 徹彦 とくた てつひこ さん

田ノ平浮立保存会会長

市内にいくつかある浮立のうちの一つ、志佐町田ノ平地区に古くから伝わる「田ノ平浮立」が7月15日、田ノ平公民館で奉納されました。五穀豊穡や無病息災を祈願する伝統行事で、300年以上の伝統があり、市の無形文化財に指定されています。この日は、同保存会の男衆が笛や鉦、太鼓を奏で、女衆があやとりを手に踊りを披露。また、上志佐小学校の5、6年生に地域住民が浮立の踊りや鉦の打ち方などを指導しました。



C この人に LOSE UP!
まつうら 輝人 キラリ

Q 浮立の起源は？

A 田ノ平浮立は、江戸時代に地区の祇園神社の祇園祭の折に、神様へ奉納するために始められたと聞いています。300年以上の歴史があり、地元住民による保存会が継承しています。田植後の慰労を兼ねて毎年この時期に行っています。

Q 浮立の中で難しいことはありますか？

A 田ノ平浮立は、法被姿の男衆が笛や太鼓、鉦を鳴らし、浴衣に編みかさをかぶった女衆が「あやとり」や「銭太鼓」を手に踊ります。ほかに槍や棒を使った浮立もあり

Q 浮立を続けていく中での喜びは？

A 青年団などの地域の若者が浮立に参加してくれることがとてもうれしいです。また毎年、上志佐小学校の5、6年生の児童も浮立を学びに訪れ、同小学校で行われる「あゆつ子まつり」で踊ってくれる

のもありがたいですね。

Q 今後の目標や願いは？

A 地域住民の1年間の無病息災や家内安全などを祈願する、伝統ある浮立を絶やさず続け、次の世代に伝えていかなければならないと感じています。



◎ PROFILE

久田 徹彦 さん
(志佐・田ノ平、56)
松浦市職員。地元の田ノ平浮立保存会に所属。平成22年度の同会長を務める。

3 years in Matsuura - 松浦で過ごした3年間 -



ジェシカ・オビチ
Jessica · Ovichi

アメリカ合衆国出身

私は2007年8月に松浦に来ました。以来、さまざまな小学校と中学校で英語を教えてきました。もちろん、日本で外国人として生活するのですから大変な時期もありましたが、私のほとんどの思い出はとても楽しいものです。経験したことの中で一番素晴らしかったのが、太鼓や書道、お茶会などの文化的なものや、運動会、卒業式、そして結婚式への出席などのイベントです。そして、日常の生活で生徒たちと遊んだことやALTの友達と一緒に過ごしたこと、日本国内やアジアの国々を旅行したこともとても大切な思い出です。

8月には両親が日本にやってきます。両親の「ツアーガイド」として日本語を使い、案内できることを楽しみにしています。松浦に数日滞在した後、京都、大阪、神戸、奈良、東京などを旅行する予定です。市内で私が両親

親と一緒にいるのを見掛けたら、手を振って "Hello!" と声を掛けてくださいね。

松浦のまち、そしてここに住む素晴らしい人たちに心から「素晴らしい3年間をありがとう」と伝えたいです。ここで経験したことは絶対忘れないし、いつも懐かしく思い出すことでしょう。アメリカ帰国後は大学に入って、医者を目指します。医学部に入ることができれば、しばらくは旅行をする時間はないでしょう。でも、もしもそうできたら、日本にきて第二の故郷である松浦に帰ってきます。本当に何もかもありがとうございました。

" Goodbye (グッドバイ)"



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『荒ぶる波濤
幕末の快男児・陸奥陽之助』
津本陽／PHP研究所

攘夷論が吹き荒れる中、新しい日本の進路を模索していた龍馬の片腕として活躍した陸奥陽之助。明治の「カミソリ大臣」陸奥宗光の青春時代を、坂本龍馬との関係を軸に描かれています。



『格安ツアーのカラクリを知らば、
アナタの海外旅行は10倍楽しくなる!』
西館彰芳／実業之日本社

航空券も宿泊代もついていて「この値段?」で旅行会社は儲かるの? 楽しいハズの海外旅行でがっかりしないための「失敗知らずのツアー選び」情報がいっぱい詰まった1冊です。



『作ってあげたい 猫の首輪』
西イズミ／河出書房新社

基本の首輪からシュシュ、衿つき、バンダナやスタイまで。愛猫のために、かわいい首輪を手づくりしましょう! ハギレやリボン、ひもなどを使った作品を紹介します。



『読んで見て楽しむ都道府県地図帳』
学研教育出版

都道府県別の47の地図や、データ地図で、県の名前・形・産業などがよくわかる! クイズつきの都道府県カードも収録した、情報もりだくさんの都道府県地図帳です。



『港町ヨコハマ 異人館の秘密』
山崎洋子／あすなろ書房

昼間は名門ミッションスクールに通う女学生。夜は俤夫として、港町ヨコハマを駆けめぐる少女おりんが、「悪魔からの手紙」におびえる級友を救うため謎に挑みます。



『ボクらはオコジョのおまわりさん』
きむらゆういち／佼成出版社

いち、に、さん、し、いち、に、さん。ちょっぴりとぼけた4人のオコジョのおまわりさんは、今日も街の平和を守ります。かわいいイラストとリズムよい文章は読み聞かせにも最適です。

このコーナーでは、この地域に伝わる民話を紹介し、皆さんの感想画を募集しています。紹介する民話は、子どもたちにふるさとの伝説や昔話を教え、少しでも遠い祖先の心や、郷里の土地のぬくもりを感じてほしいと、松浦市教育委員会が平成4年に再編した「松浦の民話」という本から引用した話です。

むかし、むかしのこと。

「ああ、なして雨の降らんとじゃろか」
「田はほし上がつてしまふし、この分じゃ、いねもかれてしまふばい」
「うちの井戸もからからたい」

村の人たちは、青い顔をして、うらめしうに天を見上げていました。しかし、来る日も来る日も、ぎらぎらした太陽が照りつけるばかりです。ついには、川や池の底もすがたを見せ、やがて地われが生じはじめました。

松浦の民話⑤

しょう にん ばる

上人原

—むらさき色の雨—

人々は、言われるままにあなをほりました。上人様はその間に、うらの竹やぶから竹を切り、一本の竹つつを作られました。それからその竹つつを片手に持ち、
「今から、わたしは、このあなの中に入つて雨ごいをいたします。わたしが入りましたら、上をこの石と土でふさいでください。そして、どんなことがあつても、そこを開けてはなりません。いいですね」と言われると、ほり上げたばかりのあなの中へ入られました。
「そぞやんことのでくるもんか」
「上人様を、生きたまんまうむるこ

たあできまっせん」
みんなは口々にそう言いました。すると、上人様は、あなの中からしかりつけるように言われました。
「わたしの命は、生きものみんなの命です。さあ早く」
村人たちはおろおろと泣きながら、石のふたをし、竹つつの周りを土で固めました。
竹つつからは、一心不乱となえるお経の音が流れておりました。仕事を終えた村人たちは、その周りにひざまずくと、手を合わせ、いっしょにお経を唱えました。
やがて夜になりました。上人様

けきをつけた、品のよい一人の上人様が通りかかられました。そして、力なく歩いてくる村人たちへ、
「どうしたのじゃ」

と、声をかけられました。村人たちは、なみだながらに、雨が降らないためうえ死にするしかないこと、何とか雨一できでもと、最後の雨ごいに来たことなどどうつたえるのでした。上人様は、村人たちの話を聞き終えますと、しみじみと、
「百姓には、水が命じゃからな」と、おっしゃいました。それから、上人様は目をとじられ、しばらく何か思案しておられる様子でしたが、目を開けられると、静かにこう申されました。
「すまぬが、人ひとり入れるほどのあなをほってください」



のお経は、暗い山から星空へ流れていきました。
お経の音とともに、日夜、たえる間もなく続きました。しかし、日がたつにつれて、声はだんだん細く小さくなつていきます。
「ふたば取ろ。見殺しにやでけん」
一人が石に手をかけると、あなの中から「ならぬ。今までの苦勞がむだになるばかりじゃ。取つてはならぬ」
上人様のきびしい声がするのでした。二十一日目の朝、村人たちが、いつものように、上人様のあなの周り

へやつて来ました。しんとして、何の声も聞こえません。村人たちは竹つつの周りにかけより、口々に「上人様あ」「上人様あ」と、声をかぎりにさげました。しかし、あなの中はしんとしているばかりです。村人たちは、声を上げて泣き出しました。泣きながら、みんなふたの石を持ち上げようとしました。けれども、その石の重いこと。力をふりしぼつて動かそうとしましたが、びくともしません。

その時でした。とつぜん、ざあつと大風が木々をゆすり始めると、かきかつといなすまが空を走り、かみなりが鳴りひびきました。おどろいて見上げた村人たちの目に、まつ黒な雲が、みるみる広がっていくのが見えました。と間もなく、ぽつりぽつりと雨が落ち始めたではありませんか。

「雨だあ」「雨だあ」
村人たちは飛び上がりました。たちまち雨はしぶきを上げて、山野を、田畑をぬらしていききました。その時です。おどりがつて喜んでいた村人の一人が、目を大きく見開いて、
「お、おい、この雨ん色ば見てみる。むらさき色ばしとるぞ」と、言い出しました。
「ほんとじゃ。この色は、上人様のけさの色じゃ」

みんなは泣きながら、その雨をすくつては飲み、すくつては飲みしました。
こうして村はよみがえりました。村の人たちは、この上人様のご恩を思い、あなのあとにお堂を建て、上人様をお祭りしました。(御厨町中野)

■あなたの力作を募集!

—民話の感想画募集—

この民話を読んで感じた情景をイラストにして、必要事項を記入の上、左記まで持参、郵送またはメールにて送付してください。応募いただいたイラストは審査をし、上位のものを次の市報で紹介いたします。

【応募資格】住所、年齢、性別など何も問いません。どなたでも応募できます。

【イラストの規格】はがきまたはA4サイズ以内の白紙に絵の具やクレパスなどで書いたカラーのもの(色鉛筆の場合は濃く塗ってください)。

【必要事項】住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、職業(学校名)

※掲載する場合、ペンネームを希望する人は、ペンネームもご記入ください。

※はがきで応募される人は、必要事項を表の下部に記載してください。なお、いただいた個人情報(民話コーナー以外には使用しません)。

【応募締切】8月16日(月)必着

【応募・問合せ先】

〒805-9450 松浦市志佐町里免365番地
松浦市まちづくり推進課
秘書広報係

☎0956-72-1111

Eメール＝

hoyo@city.matsura.lg.jp

※福島支所、鷹島支所、そのほかの各支所でも受け付けています。

中世の松浦 (21) 鷹島海底遺跡

平成13・14年度の緊急調査では、海底から出土した遺物に番号を付して取上げています。13年度は676点、14年度は1,328点。これにサイドポンプリフトを通して筏上で確認された遺物と海底面で採集した遺物および浚渫の際に出土した遺物を含めると総遺物点数は2,423点です。出土遺物は多岐にわたり陶磁器や武器類以外にも船材をはじめ磚や漆製品、文字資料などが出土しています。その中でも船材や多くの木製品は保存処理作業中です。

遺物の中で、陶磁器が製作された時期はこれまでの研究から13世紀中ごろから後半に位置づけられています。その中で、市内ではこれまで出土がなかった鈎窯系の陶器碗が出土しています。鈎窯は中国北宋時代に栄えた窯の名称で代表的な窯跡は河南省禹県八卦同で発見されており、その場所が明代に鈎州と呼ばれたことから鈎窯の名が生まれています。写真は日本で出土例が稀少な鈎窯の大碗(鉢)で、濃青釉が内外面に施釉されています。口径は19センチ、器高は7・8センチで、内面には紫紅斑文が見られます。



▶ 鷹島歴史民俗資料館で展示中

松浦の民話イラスト

読者の皆さんから寄せられたイラストの審査結果を以下の通りお知らせします。

先月の民話「きつねのお産」のイラストに、5通の応募がありました。ご応募ありがとうございました。



【最優秀賞】

近藤日陽ちゃん (星鹿保育園、5)
「おむこさんきつねが『産婆さん呼びに行くから待っててね』とおよめさんきつねに話してる声が今にも聞こえてきそうな作品です」(はま)



【優秀賞】 吉原葉月ちゃん (星鹿保育園、5)
「おむこさんきつねが人間に化けて産婆さん呼びに行った様子が上手に描かれていますね」(はま)



【優秀賞】 学童保育スマイルキッズ志佐児童クラブ
渡邊哉太くん (志佐・辻ノ尾、7)
「人間に化けたおむこさんきつねの表情で、心配している様子がよく分かりますね」(はま)



【優秀賞】
ペンネーム「岩田葵五郎」(志佐・辻ノ尾、10)
「3人の表情がよく描かれています」(はま)



【優秀賞】
ペンネーム「イブロー」(志佐・辻ノ尾、5)
「赤ちゃんが生まれてみんなうれしそうですね」(はま)

徴

未収金の徴収強化

皆さんから納めていただく税金などは市が行う事業の大切な財源です。市ではその未収金の徴収強化に取り組んでいます。

市では現在、納付されていない市の徴収金（未収金）の徴収強化に取り組んでいます。

今年度、各種未収金（保育料、住宅使用料、学校給食費など）の完納が見込めない人は、納期内に納付を行っていない人との公平を保つため、滞納分の債権整理（滞納処分・強制徴収・強制執行）を行います。

市の徴収金に未納がある人は、8月中に各納付・相談窓口に自主的に納付相談をしてください。

【滞納処分、強制徴収、強制執行とは】

給与差押、預貯金差押、報酬差押、家宅搜索、動産差押・換価、不動産差押・換価、貸家明渡請求、タイヤロックによる自動車などの差押・換価などをいいます。

市から「督促状」、「催告書」、各種「予告書」などが届いた場合は、放置することなく直ちに納付してください。

※納期が過ぎた未収金は、一括納付が原則です。



【各税・使用料などの各納付・相談窓口】

徴収金種類	担当課所・係	電話番号
保育料	子育てこども課・子育て支援係	内線 148
児童扶養手当給付費返還金	子育てこども課・こども未来係	内線 171
介護保険料	健康ほけん課・介護保険係	内線 154
後期高齢者医療保険料	健康ほけん課・国保係	内線 109
水道使用料	上下水道課・水道業務係	内線 136
簡易水道料	上下水道課・水道業務係	内線 136
下水道使用料・負担金	上下水道課・水道業務係	内線 136
知的障害者施設措置費負担金	福祉事務所・障害福祉係	内線 156
老人措置費負担金	福祉事務所・福祉総務係	内線 153
生活保護費返還金	福祉事務所・福祉総務係	内線 153
住宅使用料	都市計画課・住宅係	内線 214・217
学校給食費	教育委員会・庶務課	内線 345
市税	税務課・徴収係	内線 115・137
国民健康保険税	税務課・徴収係	内線 115・137
診療費等	中央診療所・総務管理係	0956-72-2166

明

社会を明るくする運動

7月の「社会を明るくする運動」強調月間にちなんで、各地域でさまざまな活動が行われました。

「社会を明るくする運動」とは…

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、明るい社会を築こうとする、毎年実施されている全国的な運動です。

【松浦地域】

啓発パレードを実施

社会を明るくする運動啓発パレードが7月1日、志佐町内で実施されました。



この日は、松浦更生保護女性会（上松シズエ会長）や平戸・松浦保護司会松浦分区（坂本宗研分区長）の会員など約50人が参加。会員が準備した啓発用のビスケットや、ポケットティッシュなどを配布しながら、約1時間かけて志佐町内を歩きました。

【福島地域】

ポスターを募集

福島町更生保護連絡協議会が主催で、福島町の小学4～6年生と福島中の美術部員を対象にポスターが募集され、各学校で選ばれた代表作品10点ずつが応募されたものです。

応募作品から選ばれた表彰作品は、市役所福島支所、福島町社会福祉センター、福島公民館、いろは島荘、福島町内各小中学校に、9月末まで展示されます。上位の表彰者は次の通りです（敬称略）。

【小学生】

最優秀 永田篤樹（福島・6年）
優秀 松尾亜弥果（福島・5年）

【中学生】

最優秀 志水 怜（3年）
優秀 松尾萌果（3年）
山口夏帆（2年）



▲小学生の部最優秀賞
永田篤樹くんの作品



◀中学生の部最優秀賞
志水 怜さんの作品

【鷹島地域】

ポスター・標語の展示および 鼓笛・車両パレードを実施

第60回社会を明るくする運動の啓発行事は例年通り町内一周車両パレードおよび小学4～6年生による鼓笛隊パレード（郵便局・支所間）を7月1日に実施しました。

さらに、強調月間の1ヶ月間、小・中学生によるポスター・標語各20点を鷹島支所玄関横に展示しました。ポスター・標語の表彰者は次の通りです（敬称略）。

【ポスターの部】

（小学生）最優秀 吉住姫乃（5年）
優秀 門畑綾花（6年）

（中学生）最優秀 辻畑仁美（3年）
優秀 木山沙穂（3年）

下松吟平（2年）

【標語の部】

（小学生）最優秀 中川知優（6年）
優秀 近藤英菜（5年）

（中学生）最優秀 山岡徹舟（1年）
優秀 川本沙希（2年）

高橋朋子（1年）



【問合せ先】福祉事務所

平成 22 年 8 月 1 日から、父子家庭の皆さんにも児童扶養手当が支給されます！！

(平成 22 年 8 月～11 月分の手当の支給は、同年 12 月となります。)

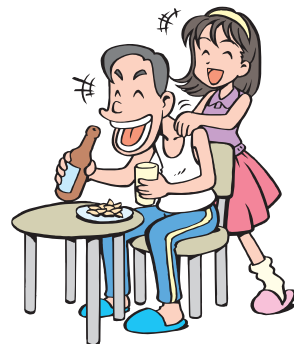
○問合せ先 子育て・こども課 ☎ 内線 171

○ひとり親の家庭に対する自立を支援するため、8 月 1 日から父子家庭の父にも児童扶養手当が支給されます。

○児童扶養手当を受給するためには、市役所（福島・鷹島支所でも可）へ申請（認定請求）が必要です。8 月 2 日から 11 月 30 日までに申請手続きをしてください。ただし、11 月下旬に申請をした場合、審査に日数を要し 12 月の支払いに間に合わない場合がありますので、早目に手続きをしてください。

【注意】11 月 30 日を過ぎると、申請の翌月からの支給となります。

※申請された後、審査をします。その結果、支給要件に該当する人のみ受給できます。すべての人が受給できるとは限りません。



【児童扶養手当とは？】

父母の離婚などで、父または母と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭（ひとり親家庭）の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として、支給される手当です。

【父子家庭の支給要件は？】

次の①～⑤のいずれかに該当する子ども（18 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日までの子ども（政令で定める障害を有する子どもの場合は 20 歳未満））について、父がその子どもを監護し、かつ、生計を同じくしている場合に支給されます。

【注意】公的年金を受給している人は支給対象になりません。

- ①父母が婚姻を解消した子ども（→事実婚の場合は対象になりません）
- ②母が死亡した子ども
- ③母が政令で定める程度の障害の状態にある子ども
- ④母の生死が明らかでない子ども
- ⑤その他①から④に準ずる状態にある子どもで政令で定める人

【手当額（月額）は？】

受給資格者（ひとり親家庭の父や母など）が監護・養育する子どもの数や受給資格者の所得などにより決められます。

○児童 1 人の場合

全部支給：41,720 円 一部支給：41,710 円～9,850 円

○児童 2 人以上の加算額

2 人目：5,000 円 3 人目以降 1 人につき：3,000 円

【注意】

受給資格に該当する場合でも、所得制限の限度額を超えている場合は、手当額が全部支給停止となる場合もあります。手当額は所得に応じて決まります。

《留意点》父と母がそれぞれに、同一児童を児童扶養手当申請の対象児童とすることはできません。父母の両方が、手当の支給要件に該当する場合は、母に手当が支給され、父には支給されません。

その他不正に申請をした場合、法律により罰せられます。

【父子家庭の人が受給するためには？】

◆児童扶養手当を受給するためには、申請が必要です。

◆申請の時期についての取扱いは、以下の通りです。

◎すでに父子家庭としての支給要件に該当している人は、8 月 2 日から受付を開始します。11 月 30 日までに申請されると、次の取り扱いとなります。

◎11 月 30 日を過ぎると、「申請の翌月分」からの支給になりますので、ご注意ください。

7 月 31 日までに支給要件に該当している人

→11 月 30 日までに申請をすれば、「8 月分」から支給されます。

8 月 1 日以降、11 月 30 日までに支給要件に該当した人

→11 月 30 日までに申請をすれば、「支給要件に該当した日の翌月分」から支給されます。

★8 月～11 月分が支給されるのは「12 月」です。

ただし、11 月下旬に申請した場合は、認定処理の関係で 1 月支給となる場合があります。

*その他、支給できない要件もありますので、上記へ問い合わせてください。

《申請手続きに必要なもの》

申請者および対象児童の戸籍謄本、所得証明書、通帳（申請者名義）、父子の保険証、印鑑、ほかにも住民票などの提出が必要な場合があります（個人の条件で違ってくる場合があります）。

第5回「松浦市民体育大会」に参加しませんか！

○問合せ先 生涯学習課スポーツ振興係 ☎内線 341

第5回「松浦市民体育大会」を開催します。各競技の出場希望者は次の申込先に申し込んでください。

【第5回松浦市民体育大会総合開会式】

○日 時 8月1日（日）午前9時～9時30分

○場 所 文化会館ふれあいホール

軟式野球		卓 球	
日時	8月22日（日）・8月29日（日）9:00～	日時	8月29日（日）9:00～
場所	市民運動公園・ニッチツ球場	場所	文化会館ふれあいホール
申込先	軟式野球連盟事務局 市役所建設課 中野正和（☎内線 208）	申込先	卓球協会事務局 市役所福祉事務所・田代裕志（☎内線 151）
抽選日	8月11日（水）18:30～	申込締切	8月20日（金）
		部門	年齢別
バドミントン		ゲートボール	
日時	8月1日（日）9:30～	日時	9月10日（金）9:30～
場所	文化会館ふれあいホール	場所	鷹島総合運動公園
申込先	バドミントン協会事務局 川本明美 ☎0956-74-0313	申込先	ゲートボール協会事務局 金子勝昭 ☎0956-74-0972
部門	6部門 男女A、B、Cクラス	申込締切	9月4日（土）
ソフトテニス		バスケットボール	
日時	中学の部＝9月5日（日）8:45～ 高校一般の部＝10月3日（日）8:45～	日時	ミニ（小学）、中学＝10月2日（土）9:00～ 一般、クラブ＝10月3日（日）9:00～
場所	市民運動公園	場所	松浦スポーツセンター
申込先	ソフトテニス連盟事務局 松永基樹 ☎090-7479-0011	申込先	バスケットボール協会事務局 市役所まちづくり推進課・嘉松正仁（☎内線 305）
部門	中学男女、高校男、一般男、高校女、一般女	申込締切	9月24日（金）
		部門	小学男女、中学男女、一般男女
バレーボール		ソフトボール	
日時	9月5日（日）9:30～	日時	10月12日（火）～10月26日（火）
場所	文化会館ふれあいホール	場所	市民運動公園
申込先	バレーボール協会事務局 市役所商工課・内野義（☎内線 241）	申込先	ソフトボール協会事務局 市役所農林課・加椎大輔（☎内線 222）
申込締切	8月20日（金）	監督会議	10月4日（月）
部門	一般男子、一般女子、婦人	部門	一般FP、壮年SP、実年SP
剣 道		グラウンドゴルフ	
日時	9月19日（日）9:30～	日時	10月12日（火）8:20～
場所	松浦スポーツセンター	場所	市民運動公園
申込先	調川町下免1018番地10 剣道協会事務局 吉野徳衛（吉野石油プロパン ☎0956-72-0066）	申込先	グラウンドゴルフ協会事務局 谷本正人 ☎0956-72-1394
申込締切	8月29日（日）	申込締切	9月24日（金）
部門	年齢別		

市役所からのお知らせ

行政相談所

問合せ先 総務課行政係

☎ 内線 321、322

市役所や国、県などの機関が行っている仕事について、意見や苦情、要望などはありませんか。次の通り行政相談所を開設しますので、気軽にご相談ください。

【日時】

8月5日（木）午前10時～午後4時

【場所】市役所別館多目的相談室

【行政相談委員（敬称略）】

川畑喜久雄 ☎ 0956-75-0724

青木サチ ☎ 0956-74-0456

認定司法書士無料相談会

予約・問合せ先 総務課行政係

☎ 内線 321、322

法務大臣の認定を受けた認定司法書士が身近な法律家として市民に貢献するため、次の通り相談会を実施します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

【日時】

8月12日（木）午後1時～4時30分

【場所】3階小会議室

【主催】長崎県司法書士会

すこやか
けんやか

見直そう自分の健康

「健診結果説明会・健康相談を開催します」

問合せ先 健康ほけん課健康推進係 ☎ 内線 168

6月から実施した住民健診の結果を基に、市内各所で健診結果説明会・健康相談を開催します。健康づくりは、健診を受けることに始まり、その結果から自分の健康状態を知り、生活習慣を改善することが必要です。毎年受診することで、単に異常があるかどうかではなく、経年的に体の変化を知ることができます。また、健診結果で精密検査が必要と判断された場合には、医療機関紹介状が発行されます。昨年度の結果を見ると、がん検診で医療機関紹介状が発行された人でも、約40%の人が受診されていませんでした。がん検診の結果は、がんの疑いだけでなく、がん以外の病気が疑われる場合も精密検査が必要と判断されます。早めの相談・受診をお願いします。なお、がん検診の結果は郵送しますので、結果についてのお尋ねや相談は、健康ほけん課健康推進係・福島保健センター・鷹島支所保健師までお願いします。

◆住民健診結果説明会・健康相談日程表（予約が必要です）

実施日	時間	場所
8月11日（水）	午前10時00分～11時30分	福島保健センター
8月16日（月）	午後1時30分～3時00分	鷹島支所2階 町民集会所
8月17日（火）	午前10時00分～11時30分	飛島公民館
8月27日（金）	午後1時30分～3時00分	青島住民センター
8月30日（月）	午前10時00分～12時00分	松浦市保健センター
8月31日（火）	午前9時～11時30分・午後1時30分～3時30分	今福公民館
9月10日（金）	午前9時30分～11時30分	御厨公民館
9月13日（月）	午前9時～11時30分	松浦市保健センター
9月16日（木）	午後1時30分～3時00分	松浦市保健センター
9月17日（金）	午後1時30分～3時00分	松浦市保健センター
9月22日（水）	午前9時00分～11時30分	松浦市保健センター
9月27日（月）	午後1時30分～3時30分	松浦市保健センター
9月28日（火）	午後1時30分～3時30分	松浦市保健センター

お家の「困った」に電話1本で
飛んで行くのがグッド・ハウスです

雨漏りした時も電話して下さいね

地元の皆さんの役に立つ地域に根付く工務店として
がんばっていきます！なんでも相談してください

お家に関するご相談は **tel.0956-72-3718**

株式会社グッド・ハウス 〒859-4502 長崎県松浦市志佐町里免315-4 ☎ good@alpha.ocn.ne.jp



選挙管理委員会委員および 補充員の選挙結果

問合せ先 松浦市選挙管理委員会
☎内線324

6月16日付の松浦市議会において、
標記選挙の結果、次の人を当選人と
決定しました。

【選挙管理委員会委員（敬称略）】

石田博之（御厨・池田、71）

近藤 肇（福島・鍋串、67）

今野松二（鷹島・三里、72）

宮原尚彦（調川・中免、73）

【選挙管理委員会補充員（敬称略）】

青木孝一（志佐・上高野、67）

山口光信（福島・里、59）

川口洋士（今福・北東1、68）

吉澤紀一（鷹島・阿翁浦、69）

選挙管理委員会委員の異動

問合せ先 松浦市選挙管理委員会
☎内線324

6月23日をもって、次の通り異動
がありましたのでお知らせします。

【委員長】石田博之（御厨・池田、71）

【同職務代理者】

宮原尚彦（調川・中免、73）

【委員】

近藤 肇（福島・鍋串、67）

今野松二（鷹島・三里、72）

【任期】 本年6月21日～平成26年6月20日

松浦市福島町観光宿泊施設 指定管理者募集

問合せ先＝観光物産課観光振興係 ☎内線 270

市では、松浦市福島町観光宿泊施設の建て替えに伴い、管理運営に関して、松浦市福島町観光宿泊施設の設置および管理に関する条例に基づき、指定管理者による管理運営体制を導入するため、施設の管理運営を行う指定管理者を募集します。

募集要項は、次の通りで閲覧できるので、ご確認ください。

【期間】 8月2日（月）～16日（月）

【場所】 観光物産課、福島支所地域振興課

松浦市観光協会会員募集

問合せ先＝観光物産課観光振興係
（松浦観光協会事務局） ☎内線 270

松浦市観光協会は、観光の振興を図り、文化の発展向上と地域の活性化に寄与することを目的とした団体です。

3市町の観光協会も合併を行い、広域的な観光事業を推進していますが、今後も市民一体となった事業を推進していくため、多くの会員を募集します。

観光事業の発展のため、多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

まつり実行委員会委員募集

問合せ先＝観光物産課観光振興係
（まつり実行委員会事務局） ☎内線 270

まつり実行委員会は、市内の活性化を図るため、春には「不老山花と光のフェスタ」、秋には「松浦水軍まつり」など、イベントを開催しています。

毎年多くの市民の方にご参加いただいておりますが、更なるまつり運営の円滑化を図るため、多くの委員を募集します。

まつり運営円滑化のため、多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

45分のスピーディー車検

105項目の安心点検!!

	軽自動車	小型自動車	中型自動車	大型自動車
車検基本料	9,800円 消費税 490円			
登録代行料	無 料!!			
法定費用	27,680円	43,570円	53,570円	63,570円
合 計	37,970円	53,860円	63,860円	73,860円

登録代行料 **0円**

当店で車を購入された方はガンリングが安くなる!!

車購入 **3円/0引** + 車検予約 **3円/0引** → 合計で **6円/0引** + オイル交換 **永久無料**

ピットブラザーズ 204号線・平戸大橋すぐそば
平戸市田平町小手田免1255-1
(有)ニシ・マイカーセンター 営業時間/午前9時～午後8時 年中無休

☎0120-751-741

幸せ、それは健康

医療法人 陽 迎 堂

武 部 病 院

TEL (0956) 74-0007
松浦市今福町北免2091番地1

外 科・内 科・整形外科
脳神経外科・リハビリテーション科

通所リハビリテーション(デイ・ケア)・グループホーム たけべ

「精霊船の搬入」受け入れ (松浦・福島地域)

問合せ先 市民生活課生活環境係
☎ 内線 142・143
福島支所市民課住民係

8月15日(日)に北松北部クリーンセンターへの直接搬入を希望する場合は、地区などでまとめて搬入する場合には、夜間受入を行います。(搬入を希望する地区は事前に地区ごとに、許可申請を8月10日(火)までに市に提出してください)なお、提灯・針金は取り外し、不燃物として搬入してください(一般ごみは受け入れません)。個人で出す場合には、8月16日(月)以降の収集日に市指定のごみ袋に分別して出してください。

【搬入場所】北松北部クリーンセンター

みんなで黙とうを

問合せ先 福祉事務所福祉総務係
☎ 内線 153

原爆や戦争の犠牲となられた人たちのご冥福を祈って、次の日時にサイレンを1分間吹鳴します。
黙とうをささげ、平和への誓いをあらたにしましょう。

【県民祈りの日】

8月9日(月) 午前11時2分

【全国戦没者追悼式】

8月15日(日) 正午

10月から、小・中学生まで医療費助成を行います

○問合せ先 子育て・こども課 ☎ 内線 171

鷹島支所市民課、福島支所市民課

10月から乳幼児医療の助成枠を拡大し、「子ども医療費」として、乳幼児から中学生までの児童を対象に医療費の一部を助成します。

助成額は、これまでと同様に、1月毎、1医療機関毎で、各医療機関の医療費合計額から1日受診した場合は800円、2日以上受診した場合は1,600円を超える分です。

新たに「子ども医療費」の対象となる小・中学生のお子さまが医療費の助成を受けるためには、次の手続きが必要です。

- ① 8月上旬に各該当者に、受給者証の交付を受けるための認定申請書の用紙を送付します。
- ② 上記の認定申請書に対象となる児童の保険証の写しを添えて、8月末までに子育て・こども課、福島支所、鷹島支所およびその他の支所・出張所へ提出ください。
- ③ 申請書を受け付けた順に、9月中に、対象児童の受給者証を交付します。
- ④ 受給者証が届いたら、10月診療分から、医療費支給申請ができます。

※認定申請は、利用の有無に関わらず **12月末までに申請手続き**を済ませてください。**平成23年1月以降に申請された場合は、申請された日からの助成となりますので、忘れないように、申請手続きをお願いします。**

松浦市役所人事異動

問合せ先 まちづくり推進課人事係
☎ 内線 303

7月1日および2日付けで次の通り人事異動を行いましたので、お知らせします(係長級以上)。

《7月1日付》

【商工課主幹兼交通対策室長】

吉永弘治(旧 水産課課長補佐兼水産振興係長)

【水産課課長補佐兼水産振興係長】

石川章浩(旧 中央公民館長)

【中央公民館長】

塚本 明(旧 中央公民館主任兼図書館主任)

《7月2日付》

【市民生活課課長補佐兼住民・年金係長】

石黒修子(旧 市民生活課課長補佐)

【市民生活課主任】

河野恒夫(旧 福祉事務所主任)

《7月1日付退職》

澤井謙一(旧 市民生活課参事兼住民・年金係長)

任意整理・過払金返還請求!

消費者金融等と約10年以上の取引がある方・
消費者金融等の借金を完済した方は

相談無料
秘密厳守

完済した方は自己負担金ゼロ!

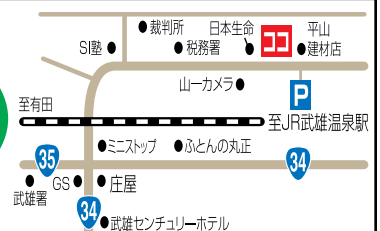
取り戻した過払金の中から成功報酬をいただくのみです。
詳しくはお電話、またはブログをご覧ください。

<http://fukuda-hiroshi.seesaa.net/>

西九州総合法律事務所

佐賀県弁護士会所属

弁護士 福田 大志



要電話予約

☎ 0954-27-8056

受付/ (月~金) 9:00~12:00 13:00~18:00
佐賀県武雄市武雄町大字武雄5650-26

自宅で高齢者を介護している皆さん
心身のリフレッシュをしませんか？

問合せ先＝健康ほけん課介護保険係

☎内線 145

要介護高齢者を自宅で介護している家族の皆さんが、交流を通して心身をリフレッシュする機会をもち、介護者の身体的、精神的負担の軽減を図るために松浦市家族介護慰労事業を実施します。

【期日】 10月23日（土）

【対象者】 要介護3～5に相当する人または認知症高齢者（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ、Ⅳ、Ⅴの人）を、現に自宅で介護している家族（要介護高齢者が施設に入所している家族は利用できません）。

【定員】 10人（先着順。また、交流を目的としているので、5人以上の参加がない場合は事業を中止します）

【内容】 日帰り旅行による交流

【負担金】 無料（当事業に参加するために要介護高齢者が利用する介護サービスの個人負担金についても市が負担します）

【申込方法】 参加を希望する人は、電話でご連絡ください。その後申請書を提出してください。

【申込期間】 8月2日（月）～20日（金）

※定員になり次第締め切ります。

松浦市民文化祭【舞台発表】出演者募集

問合せ先＝生涯学習課社会教育係
☎内線 343

【開催日】 11月21日（日）

午前9時30分～午後4時30分

【会場】 文化会館ゆめホール

【内容】 日舞・箏曲・三味線・民謡・詩吟・ダンス・コーラスなど

【参加資格】

市内在住者または市内に勤務する人で、演目が地域の文化振興に寄与する内容のものであること。

【制限】 1団体 15分以内

（詳細は申込書に添付している開催要項に記載）

【申込期限・方法】

生涯学習課および各市立公民館に設置している申込書に必要事項を記入の上、9月10日（金）までに生涯学習課、各市立公民館に申し込んでください。

詳しくは、生涯学習課および各市立公民館に設置している開催要項をご覧ください。

また、開催要項は松浦市ホームページにも掲載しています。

ニュースポーツ教室

○問合せ先 生涯学習課スポーツ振興係 ☎内線 341

市民の健康増進と体力維持のため、下記の通り「ニュースポーツ教室」を開催します。参加者の年齢は問いません。気軽にご参加ください。

○ニュースポーツとは

新しく考えられたものや、もともとあったスポーツを改良したものがあり、「スポーツの楽しさ」を再発見し、仲間と楽しむことができるスポーツです。

【第1回】日時 8月6日（金）午後7時～9時

場所 御厨中学校体育館

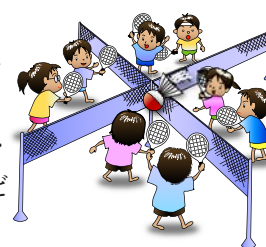
【第2回】日時 8月19日（木）午後7時～9時

場所 松浦スポーツセンター

【種目】

4コートゲーム・バグー・
ペタンク・スカットボール・
シャフルボード・輪投げ・
ディスクッター（ストラックアウト）・
健康エクササイズ・体力測定など

【対象】 幼児～高齢者



【4コートゲーム】

子供の伸びを
実感してください!!

成績アップの秀明館 東進予備校



2学期生募集

募集要項

①元気で明るい子 ②初志貫徹の子 ③ベストを尽くす子

中学・高校・大学進学予備校

秀明館 東進予備校

お申し込みは:TEL

咲くよ通る

0120-394-106

松浦市志佐町里免343-1 川原ビル2F
（市役所前・親和銀行横）

その他のお知らせ

市民公開講座

―子宮頸がんは、
ワクチンと細胞診で予防できる―

問合せ先 Ⅱ 社団法人北松浦医師会

☎ 0956-72-1110

子宮頸がんは、予防ワクチンによつて約70%が予防できるといわれています。大切なあなたのからだを守るために、検診のこと予防ワクチンのこと、この機会に知ってみてはいかがでしょうか？

【日時】 8月19日（木）午後7時～8時

【場所】 文化会館ゆめホール

【講師】 長崎大学 産科婦人科

教授 増崎英明先生

【主催】 北松浦医師会・松浦市・県北保健所

松浦地区視覚障害者懇談会

問合せ先 Ⅱ 力武國男

☎ 0956-72-0291

目が見えない・見えにくいのために、日常生活と就学などで問題を抱えている人とその家族およびそのサポートに関心がある人、同じ悩みを持つ者同士で話してみませんか。

一般参加の人も歓迎します。

【日時】 9月17日（金）午後1時～3時

【会場】 市役所別館多目的相談室

【講師】 長崎県視覚障害者情報センター・視覚障害者リハビリテーション指導員松野雅子さん

第5回松浦ロードレース大会

【参加者募集】

○期日 10月24日（日）※雨天決行

○コース

生涯学習センター（きらきら21）前道路をスタート・ゴールとし、市道松浦中央線・県道11号線（志佐町里免～笛吹免）を利用した各往復コース（右図参照）。

○部門

のびのび家族（1^{キロ}）、小4（男・女1.5^{キロ}）、小5（男・女2^{キロ}）、小6（男・女2^{キロ}）、中1（男3^{キロ}・女2^{キロ}）、中2・3（男3^{キロ}・女2^{キロ}）、高校（男10^{キロ}・女5^{キロ}）、一般（男10^{キロ}・女5^{キロ}）、壮年男40歳以上（5^{キロ}・10^{キロ}）、壮年男50歳以上（5^{キロ}）

○申込方法

教育委員会または各市立公民館に備え付けの参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて申し込んでください。

○参加料

小・中学生＝市内500円（市外700円）

高校生＝1,000円 一般・壮年＝2,500円

のびのび家族（1組）＝2,500円

○招待選手 （株）九電工陸上競技部選手

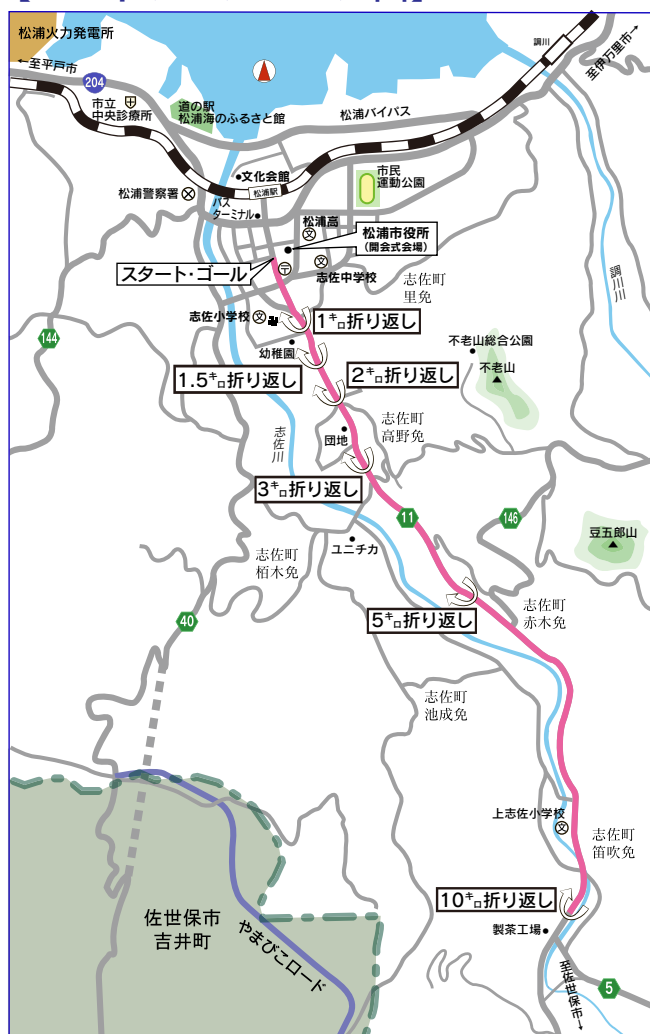
○申込期限 9月10日（金）必着

○申込先 〒859-4598（住所不要）

松浦市役所内 松浦ロードレース大会事務局

○問合せ先 生涯学習課 ☎内線312

【ロードレースコース図】



【ボランティア募集】

10月24日（日）に開催する第5回松浦ロードレース大会の係員として協力いただける人を募集します。

○申込期限 9月10日（金）

○申込方法 生涯学習課に直接連絡してください。

**地上デジタル放送受信のための
簡易チューナーを無償給付します**

問合せ先＝総務省地デジチューナー
支援実施センター

☎ 0570・033840

総務省では、経済的理由などで地上デジタル放送を見ることができない世帯に対し、簡易チューナーの支給やアンテナ改修などが必要な場合の支援を実施中です。

【支援受付期限】12月28日（火）

【支援の対象世帯】

次のいずれかに該当し、NHKの放送受信料の全額免除を受けている世帯が対象です。

- ①生活保護などの公的扶助を受けている世帯
- ②障がい者がいる世帯で、かつ世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯
- ③社会福祉事業施設に入所している世帯

※既に地上デジタル放送を視聴できる世帯は支援を受けられません。

【総務省地デジチューナー支援実施センターホームページ】

<http://www.chidejshien.jp>

※地デジに関する相談は、デジサポ（総務省地デジコールセンター）へ

どうぞ

☎ 0570・07・0101

テレビのデジタル化はもうお済みですか？

地上デジタル放送受信相談会を開催します

【問合せ先】総務省デジサポ長崎受信説明会事務局

☎ 095・811・3280

現在の地上アナログテレビ放送は、平成23年7月24日までに終了し、地上デジタル放送（地デジ）に完全移行します。それまでに視聴環境（テレビ・アンテナなど）のデジタル化対応がお済みでないと、テレビをご覧になることができなくなります。

地デジを見る方法がわからない人、受信機器の使い方がわからない人などを対象に、市内では次の日程で総務省の相談員による個別面接相談会を開催します。

気軽にご参加ください。（予約不要／相談無料）

○主催 総務省長崎県テレビ受信者支援センター

○協力 松浦市

【個別相談会日程・松浦会場】

開催日	8月16日（月）、8月19日（木）、 8月20日（金）
時 間	午前10時～午後5時（受付時間）
会 場	松浦市役所 本庁1階ロビー

【個別相談会日程・鷹島会場】

開催日	8月17日（火）
時 間	午前10時～午後5時（受付時間）
会 場	松浦市役所鷹島支所 1階ロビー

【個別相談会日程・福島会場】

開催日	8月18日（水）
時 間	午前10時～午後5時（受付時間）
会 場	松浦市役所福島支所 2階第1会議室

「地デジ詐欺」に注意しましょう

地デジ化にあたり、テレビ調査員や工業者を名乗り不要な工事を行って代金を請求したり、架空請求を行ったりする例が起きています。ご注意ください！

**8月は
「電気使用安全月間」です**

**ホコリとコンセント
トラッキングによる出火**

冷蔵庫や洗濯機などのプラグはコンセントに差し込んだままになっていませんか？
長い間に、すきまにはほこりがたまり、これに湿気が加わると火災につながる可能性があります。（トラッキング現象といいます）
差し込んだままのプラグも1年に1回は点検、清掃して安全に使いましょう。

九州電気保安協会

**コンセントやプラグの
点検をしていますか？**



原付免許試験

問合せ先 松浦警察署交通課

☎ 0956-725110

内線 413

【日時】9月7日(火)午前10時30分

【場所】ヒューマンスクール松浦

【受験資格】

①受付時に年齢が16歳以上の人

②松浦警察署内居住者 **住民票記載の住所**

③欠格事由に該当しない人

【受付期間】8月10日(火)～24日(火)

(平日の午前9時～午後5時のみ)

【受験受付場所】同署交通課免許窓口

【受験の際の必要書類など】

①登録申請書(同署交通課免許窓口交付)

②住民票(本籍記載) 1通

③写真2枚(無帽、無背景で申請前

6カ月以内に撮影したもの、縦3・0センチ

×横2・4センチ)

④試験手数料1,650円

【注意事項】時間の厳守(試験日は、午前

10時までにヒューマンスクール松浦に

集合。試験時間に遅れた人は、受験資格

がなくなります)筆記用具などの準備(鉛

筆消しゴムなどの貸し出しはしません)

※受験後、合格者は原付免許取得時講習を

受講しなければなりません。受講手数料

4,050円、バイクを運転できる服

装(下駄、ハイヒール、スリッパは不可)

および手袋(軍手可)、雨合羽(雨天時)な

どを準備する。)

全国一斉道路交通センサス への協力をお願い

問合せ先 国土交通省九州地方整備局

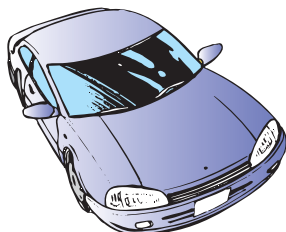
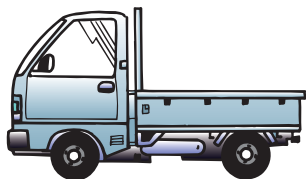
長崎河川国道事務所調査第二課

☎ 095-839-9861

国土交通省では、自動車の利用実態を把握し、将来の交通計画を立てるための基礎資料を得る目的で、今年度、全国一斉に「道路交通センサス」(全国道路・街路交通情勢調査)を実施します。

平成22年6月末現在の国土交通省が管理する自動車登録情報から調査対象車両を無作為に選定し、10月ごろアンケートを実施します。選定された車両を所有される人の家に身分証明書を携帯した調査員が訪問し、調査票の配布と記入の仕方を説明します。

調査対象となった人は、調査の趣旨をご理解の上、ご協力ください。



引揚者のご家族の皆さんへ

○問合せ先 長崎税関監視部

☎ 0120-828-680

税関では、終戦後、外地から引き揚げてこられた方々からお預かりした通貨や証券類をお返ししています。

お返しする通貨などは次のものです。

1. 終戦後、外地から引き揚げてこられた方々が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券など
2. 外地の集結地において、総領事館、日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち、その後日本に返還されたもの

お預かりした通貨などの半数以上は返還のお申し出がなく、現在も税関に保管されたままになっています。

これらの返還は、本人だけでなく、家族の人も請求することができます。心当たりがある人は、気軽にお問い合わせください。

○ホームページによるお知らせも行っています。

アドレス <http://www.customs.go.jp/nagasaki>

KENTEN 2010



作品公募

■出品申込 / 2010年 8月1日(日)→8日(日)

お問い合わせ: 県展事務局 長崎市出島町2-1 (長崎県美術館内)
TEL095-825-6058 FAX095-825-6505

■作品搬入

長崎 長崎県美術館 (ギャラリー棟出入口) 9月2日(木) (13:00~18:00)
佐世保 佐世保市民文化ホール 9月2日(木) (10:00~14:00)

■部 門 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン

募集要項・申込書は、

県展事務局・市町教育委員会(文化課または、社会教育課)・材料店・表具店にあります。
主催/長崎県・長崎県教育委員会・長崎県美術館・長崎県文化団体協議会

県展人材育成基金から賞金授与

●県知事賞 10万円

特別賞(野口彌太郎賞)、新鋭賞にも賞金を授与

●野口彌太郎賞...洋画部門で40歳未満の入賞者

●新鋭賞...各部門の初入選者から1名

芸術を愛する皆さんの
出品を待っています。

長崎県美術館の
企画展開催案内

【長澤英俊展—オーロラの向かう所】
'10/7/3 (土) ~ 8/29 (日)
【画業60年松岡勉展】
'10/10/6 (水) ~ 11/14 (日)
【太田大八とえほんの仲間たち】
'10/11/20 (土) ~ '11/1/10 (月・祝)

放送大学10月生募集

問合せ先 放送大学長崎学習センター

☎095・813・1317

放送大学では、平成22年度第2学期（10月入学）の学生を募集しています。

放送大学はテレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の人が学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

○15歳以上の人は、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

○18歳以上の大学入学資格をお持ちの人なら、無試験で全科履修生として入学でき、4年以上在学して124単位以上を修得し、卒業すると、学士（教養）の学位を取得できます。

○ひとつの分野を体系的に学びたい人には、「放送大学エキスパート」を実施しています。

【出願期間】 8月31日（火）まで

※資料を無料で差し上げます。気軽にご請求ください。

※放送大学ホームページでも受け付けています。

【資料請求・問合せ先】

放送大学長崎学習センター

〒852・8521

長崎市文教町1番14号

（長崎大学文教キャンパス内）

ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

戦没者遺児による

慰霊友好親善事業

問合せ先 財団法人日本遺族会福祉事業部事業課事業係

☎03・3261・5521

内線3656・8

財団法人日本遺族会は「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。

同事業は、厚生労働省から委託・補助を受け実施しており、先の大戦で父などを亡くした戦没者の遺児を対象として、父などの戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善を図ることを目的としています。

【費用】 参加費として一律8万円

【実施地域】 フィリピン、ミャンマー、インド、ポルネオ・マレー半島など15地域

【申込先】 各都道府県遺族会

※それぞれの地域で申込締切日を設定しているのので、詳しくはお問い合わせください。

鷹島モンゴル村 ニュース



入場料を徴収します

これまで鷹島肥前大橋開通を記念して、鷹島モンゴル村の入場料は無料となっていました。4月1日からモンゴル村にお越しの際には入場料が必要となっています。

温泉を利用する人は、フロントで温泉入浴券を購入すると無料で入場することができます。

【入場料】 大人（中学生以上）200円、小人100円（小学生のみ）

【温泉入浴券】

大人（中学生以上）500円、小人300円（小学生のみ）

※小学生未満児（幼児）は、入場料・温泉入浴とも無料です。

モンゴル村温泉「草原の湯」 営業時間

7月からモンゴル村温泉「草原の湯」の営業時間が変更になりました。ご利用の際には、時間を確認の上、ご来場ください。

【4月～10月】 午後2時～10時

【11月～3月】 午後2時～9時

※土日祝日は午前11時からの営業となります。

なお、毎月第3水曜日は定休日です。

○問合せ先 鷹島モンゴル村
☎0955-48-2331

喫茶「遠矢原」 営業中

7月からモンゴル村入口で喫茶店をリニューアルして営業しています。ドリンク、ソフトクリーム、カキ氷、軽食などがあります。どうぞお誘い合わせの上お越しください。



法律相談センター

問合せ先 長崎県弁護士会佐世保支部
☎ 0956-22-9404

長崎県弁護士会による法律相談センターを次の通り開設します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

【日時】 8月27日（金）午後1時～4時

【場所】 文化会館

【料金】 30分ごとに5,000円

大切な思い出の宝物が埋まっていますか？

問合せ先 御厨小学校

☎ 0956-75-0232

御厨小学校の卒業生の皆さん、現在の小学校の校舎周辺や校庭に、卒業記念などで、大事な宝物（タイムカプセルなど）を埋めていますか？同校は、校舎改築が行われており、8月中には新校舎へ移り、その後、旧校舎が取り壊され、運動場に整備される予定です。解体作業が始まると3月までは出入りができなくなり、解体作業の折に、旧校舎周辺は掘り起こされ整地されます。

もし、卒業生などで埋めたものがあれば、8月31日（火）までに同校（右記）まで連絡してください。

自衛官を募集します

募集種目	資格	受付期限	試験日
一般曹候補生 (陸・海・空、男女)	18歳以上 27歳未満の人	8月1日（日）～9月10日（金） 年間を通じ、随時受付	1次：9月18日（土） 受付時にお知らせします。
自衛官候補生 男子 女子		8月1日（日）～9月10日（金）	9月26日（日）～29日（水）
航空学生（海・空）	高卒（見込含）以上 21歳未満の人	8月1日（日）～9月10日（金）	1次：9月23日（木）
看護学生	高卒（見込含）以上 24歳未満の人	9月6日（月）～10月1日（金）	1次：10月23日（土）
防衛大学校学生（一般）	高卒（見込含）以上	9月6日（月）～10月1日（金）	1次：11月6日（土）・7日（日）
防衛医科大学校学生	21歳未満の人	9月6日（月）～10月1日（金）	1次：10月30日（土）・31日（日）

○問合せ先 自衛隊長崎地方協力本部佐世保出張所 ☎ 0956-23-1231 E-mail: jieitai@tvs12.jp

第60回志佐町納涼花火大会

志佐川下流で、わらなどで作った精霊船が、1,500発の花火とともに幻想的に辺りを彩ります。

○日時 8月15日（日）

※雨天時17日（火）に延期

○場所 鹿ノ爪橋（志佐川下流）

・大抽選会 午後7時20分～
(午後6時～受付)

・精霊船道行き 午後8時駅前出発

・精霊船流し 午後8時30分～

・納涼花火大会 午後8時45分～

○主催 志佐商工振興会

○問合せ先 松浦商工会議所 ☎ 0956-72-2151

「御厨ぶどう祭り」 展示即売会

毎年恒例の御厨ぶどう祭りが開催され、巨峰や安芸クイーンの即売が行われます。

宅配コーナーも設けられますので、ぜひお立ち寄りください。

○日時

8月7日（土）

午前9時～午後4時

8月8日（日）

午前9時～午後4時

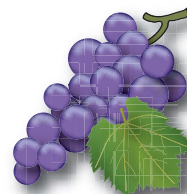
○会場

道の駅 松浦海のふるさと館

○問合せ先

ながさき西海農協
松浦営農経済センター

☎ 0956-72-1144



消防だより

【問合せ先】松浦市消防本部 ☎0956-72-1211



ルールを守って 楽しい花火

1. 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
2. 風が強いときは、花火遊びはやめましょう。
3. 水を用意しましょう。
4. 大人と一緒に遊びましょう。
5. 花火を人や家に向けたり、燃えやすいもののある場所で遊んだりしないようにしましょう。



温かい心ありがとうございます

一般寄付

●松浦市へ金一封
○岩谷 節代様 (福岡県福岡市)

香典返し、遺明、寄付

●星鹿小学校へ金一封
○田代 浩之様 (星鹿・川原辺田)

●大崎小学校へ金一封
○福田 ひづる様 (御厨・西木場)

●松浦市社会福祉協議会へ金一封
○中島 静代様 (志佐・大浜東)

●萩原 芳文様 (志佐・赤木)
○萩原 萩原 武様

●椎山 春子様 (調川・前浜)
○木寺 ウコ様 (福島・福崎)

●福島支所
○市丸 元治様 (今福・仏坂)

●岡村ケイ子様 (福島・原)
○井上 満信様 (鷹島・阿翁)

●鷹島支所
○吉永 昌子様 (鷹島・船唐津)

●御厨・星鹿地区社会福祉協議会へ金一封
○福田 ひづる様 (御厨・西木場)

●志佐地区社会福祉協議会へ金一封
○松永 昌代様 (志佐・笛吹)

●今福地区社会福祉協議会へ金一封
○福田 今朝一様

●福田 一夫様
○福田 健様 (志佐・里一)

●富田 恵様
○富田 恵様

戸籍だより

6月16日～7月14日届出 (敬称略) ※希望者のみ掲載

結婚おめでとう

富士 栄輝 星鹿・川原辺田

(内野) 希美 御厨・小 船

永田 正実 鷹島・石 川

(半田) 真美 福岡県久留米市

福本 竜平 佐々町

(松瀬) 愛 今福・人 柱

松永 裕隆 志佐・白 浜

(林田) 麗佳 佐世保市

吉元 忠輔 志佐・中 町

(金子) みどり 志佐・中 町

田中 大貴 今福・人 柱

(松尾) 麻衣子 福島・播磨釜

高橋 蒼 (互) 志佐・池 成

石橋 隼斗 (直樹) 志佐・蟇子崎団地

坂本 大河 (武彦) 鷹島・中 通

藤田 壮祐 (康伸) 御厨・中 野

福田 煌竜 (竜馬) 志佐・栢ノ木

坂本 珠史 (祐輝) 星鹿・川原辺田

川本 郁樹 (直樹) 星鹿・星 鹿

中山 美桜 (政彦) 今福・坂 野

谷口 聖羅 (幹男) 志佐・蛭子崎西

関 瑠姫愛 (公康) 御厨・御厨定促

濱田 航輝 (照行) 御厨・前 田

益本 悠伸 (徳之) 志佐・下高野

小西 歩夏 (正幸) 志佐・里 2

梅本 暖真 (憲二) 調川・江口 1

ご冥福をお祈りいたします

土本 勝巳 (82歳) 志佐・住吉通

田中ミエ子 (78歳) 星鹿・牟 田

眞木 正照 (95歳) 志佐・池 成

関根 和子 (70歳) 志佐・大浜東

森田九十九 (94歳) 調川・平 尾

山口 満美 (96歳) 御厨・板 橋

港 登 (76歳) 調川・江口 3

渡口 ヤエ (89歳) 志佐・下高野

吉永國太郎 (90歳) 鷹島・船唐津

切建 吉子 (87歳) 志佐・里 2

山田 ワサ (87歳) 鷹島・三 里

大串ハツエ (87歳) 福島・いろは鼻

甫田ツギエ (86歳) 調川・江口 2

野中 ユキ (86歳) 志佐・立石川

山本 恒夫 (78歳) 福島・福 崎

富田 恵 (50歳) 今福・仏 坂

萩原 忠 (72歳) 志佐・田ノ平

大渡 征次 (66歳) 星鹿・下 田

郷野 昌子 (87歳) 御厨・駅 通

桑田シズ子 (74歳) 鷹島・三 里

宮崎 信一 (93歳) 調川・平 尾

一丸美代子 (69歳) 鷹島・阿 翁

皿山フジノ (86歳) 星鹿・大 石

溜水 敏昭 (55歳) 調川・江口 1

山本 祥次 (74歳) 調川・松山田

松田 順一 (85歳) 御厨・青山荘



■市報 まつうら N. O.
平成22年8月1日発行 56

■編集発行／松浦市まちづくり推進課秘書広報係
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地
福島町からは…47-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsura.jp>

電話0956-72-1111 FAX72-1115
福島町からは…48-3011
Eメールアドレス matsura@city-matsura.jp
■印刷／有限会社タイセイ印刷

Tomorrow

No. 5

明日へのバトン

Tomorrow

PROFILE

ひろ ゆき

谷村 広行 さん

星鹿町大石地区に住む30歳。
趣味は歌うこと。楽器演奏。
友だちとのバンド活動。



■今月の表紙

6月25日に今福保育所で行われた園児とお年寄りが一緒に楽しむ「ふれあい運動会」(今福公民館主催)でのひとコマ。今福長寿会(川久保孟彦会長)の会員や保護者など約40人と今福保育所の3歳から5歳児58人が参加。レスキュー隊や玉入れなどを一緒にいき、最後に山口明葉ちゃんと副島千陽君が「時間があつたらまた遊びに来てください」とお礼の言葉を言いました。

※次は、古賀 巧崇さん(御厨・池田上)にバトンタッチ!

○目標・夢

サービスの向上はもちろん、いろんな年代の方々が気軽に足を運んでいただける空間にしていきたいと思っています。
そして、お客さまや仲間たちと接していく中で生まれてくる発想やつながりを通して、微力ながら地域に貢献していきたいと思っています。

○職業・仕事内容

高校を卒業後、9年間福岡と佐世保で理容師の修業をして、4年前に地元に戻り、理容店を営んでいます。お客さまの要望に応えるだけでなく、毛髪の悩みや私生活や仕事時のことも考えたサービスを心掛けて、頑張っています。



イラスト (健)

環境月間にちなんで市内でも企業などが地域の清掃活動などを実施し、^㉔もいくつが取材に行きました。7月に入ると徐々に気温が上がり、暑い夏が近づいてるなと実感しています。
地球温暖化などよく耳にしますが、温暖化が進むと日本でも気候が変わったり、生態系が変化して、新しい病気などが出てきたりすることも予想されるそうです。
梅雨は、晴れが続いたり、ゲリラ豪雨のように一気に降ったり、これも温暖化の影響なのでしょうか。子どもや孫が安心して暮らせる地球を残してあげるためにも^㉔も何かしないといけないなあと、思う今日このごろです。

■編集室から

■人の動き

※()は、前月との比較

人口	25,746
	(+2)
男	12,312
	(+9)
女	13,434
	(-7)
世帯数	10,229
	(+5)
住民基本台帳から	

平成22年7月1日現在

福岡まで1時間! 西九州自動車道の日も早い完成を!



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙(100%)を使用しています。

市報まつうら 平成22年8月号 32